

電気温水器のこと あれこれ

暑い日が続く中、電気温水器がついにおかしくなった。200v 漏電ブレーカーが突然落ちていることがあり、恐るおそるリセットしておく、翌日には満タンまで貯湯している。入浴には全く支障ないのだが、設置後 17 年目なので、修理か買い替えかで悩むことになる。

温水器の前面カバーを外して自己点検をしてみるも、水漏れも無くブレーカーテストしても正常にみえるし、さすがに漏電原因は分からなかった。メーカーサービスに電話相談しても、部品が無く直らない可能性があるとの事だったので、修理依頼を保留し、不調状況を 1 か月に渡り記録してみると、200v 漏電ブレーカーが落ちるタイミングに規則性がなく、おまけに大雨の日に、隣の 100v 漏電ブレーカーまで落ちるに至っては、頭の中は○×▽・・・。

毎日の記録から、100v 漏電ブレーカーが落ちたのは、付近の落雷の精だと判断出来たが、200v だけは落雷に関係なく発生しており、1 か月の間に 10 回も漏電ブレーカー作動を記録した。

「本当に、30 mm A もの感度電流が流れて漏電ブレーカーは作動したのか？」と当初から疑問があったので、ブレーカー自体が熱中症（劣化？）になっているのではと疑い、函体の中のブレーカーの隙間の空間に熱電対を差し込んで測定してみた。



その結果、夕方のブレーカー横は 40.5℃（気温 32℃時）だった。（写真は、測定の様子）西日の一番きつい時間帯では、さらに数℃上がっていたと考え、漏電ブレーカーの耐熱温度（-10℃～50℃）までは届かないまでも、比較的涼しいこの地域で 16 年間働いてきたブレーカーにとっては、暴走したくなる異常気温だったのかも・・・。

再度、出張修理を要請したサービスマンも、沸き上げヒーター、保温ヒーター、漏電ブレーカー、基盤ほかにも異常は見られないとの事で、「直らなくても構わないので漏電ブレーカーだけを交換してくれ」とお願いし、直らないことを了解の「見込み修理」という初めて聞く言葉で対応してもらった。

既に関り替えの準備を進めている最中なので、交換が可能だった部品の一番安いもの（部品代 2,600 円、出張費等は別途）で様子を見ることにした。（沸き上げヒーターも可能だったが却下）

結果これが大当たりで、お陰で買い替えの意欲も失せ、電気温水器の延命に無事に成功しました。

異常気象は、想定外のことを引き起こしてくれると肝に銘じた酷暑の出来事でした。

以上